

[問い合わせ先]
株式会社メディカルガーデン
●神奈川県海老名市国分北2-15-14
TEL 046-205-7431
URL www.medical-garden.com/



▶株式会社メディカルガーデン取締役
副社長の中村洋明さん



▲駅や医療機関など市内の主要箇所をめぐる無料巡回バス「ガーデン号」の運営もサポート。移動困難な市民を新たな形でサポートする



▶薬の分包などももちろん対応。個人名・日付を分け
るなど介護・看護職の負担軽減にも寄与



▲同社の薬剤師による勉強会の様子

もその場で薬の副作用などの確認もできると、好意的に受け入れられないと話す。介護職員に

ては、医師に聞きにくいことも、薬剤師を通じて聞くことができるなど、橋渡し役としての存在を評価されることも多いそうだ。

特に同社の薬剤師が強調するのは、「薬は飲めて初めて効果や副作用が確認できるので、飲むこと自体が難しいのであれば薬剤師に頼ってほしい」ということ。薬を出すだけでなく、服用量や回数、錠剤の形状の変更等を検討し、飲めるように医師へ相談・提案することも、治療効果を高めるうえで薬剤師の重要な役割であるといふわけだ。服用方法や薬の機序について、同社の薬剤師が介護事業所に訪問し、研修などをすることも積極的に行っているそうだ。

最近ではポリファーマシー（多剤併用）の問題から減薬にも力を入れる介護事業者も増加。同社はそうした取り組みも強力に推進している。服用している薬を見直し、減薬することで容態が維持・改善する場合に限り、減薬を進めていくという。

A DL・QOL向上をめざす 減薬を通じて

なかには、薬をやめることに「良くならなくなるのでは?」など不安を覚える利用者や介護職員もいる。そうした場合も無理に減薬を進めず、薬学的な面から説明し、「了解を得ていく」という。同社が有料老人ホーム18施設（入居者数650人）で1年3ヶ月にわたって減薬に取り組んだ結果、742剤減薬できたという結果も出ている。「薬の副作用で不穏や吐き気が出ていたのがなくなったという方や、夜間不穏が強い方が、別の薬剤を減量したところ、夜間良眠になつたなど、減薬を薬剤師が主体的に検討し、医師へ相談・了承してもらつた結果、状態がよくなつた方も多数います」と中村さん。QOL向上につながっているのがわかる。一方、服薬介助数の減少や誤薬に対するストレスの軽減など、介護職員にとってのメリットもある。

「適正な薬の使用により、余裕が生まれるのであれば、それを本来の介護業務や技術向上などに充ていただきたいと考えています」と、中村さんは減薬を通じて介護の質向上につなげてほしいと話す。

入居者の訪問診療にも同行

「訪問薬剤管理」

Pick Up
介護のミカタ

薬剤師の積極介入と適正な薬の使用で 介護の質向上をサポート

訪問薬剤管理というと、薬を届けるだけと思っていないだろうか？ 株式会社メディカルガーデンの薬剤師は、薬を通じて介護の質向上や職員負担の軽減につなげるアイデアも一緒に届けてくれる。



有料老人ホームの看護師(右)と打ち合わせをする薬剤師

神奈川県のまん中に位置する海老名市を中心に薬局を開いている株式会社メディカルガーデン。24時間在宅支援調剤薬局として訪問薬剤管理にも注力しており、現在特に有料老人ホームなどの介護施設との連携を強化している。同社取締役副社長で薬剤師でもある中村洋明さんは「薬剤師は70人超、そのうち訪問業務に専任している薬剤師が30人以上在籍しているなど、厚い人員体制が強みです。外来業務の時間帯にかかわらず、ご依頼があればすぐに訪問できるようになります」と説明する。連携している介護事業者からも「急な処方にもすぐに対応してもらえる」と好評だ。

また、訪問薬剤管理を行うなかでポイントとなるのが、訪問診療時の同行だ。「訪問診療の際には当社の薬剤師も同席させてもらい、ご入居者の病態や治療の方向性などを踏まえながら、薬学的な面からアドバイスや提案を行っています」と中村さん。医師から

迅速な対応で
24時間駆け付ける